

まもりたい！ 私が津市のために実行したいこと

PICK UP

地域の防災（地震・津波への備え）



私は、津市で防災を考えると、「意識の差」をなくしたいと思っています。

海の近くに住む方は、「どう逃げるか」を真剣に考えています。一方で、内陸に住む方は、「自分のところは大丈夫だろう」そう感じやすい。これは、見えている危険が違うからです。でも、地震や津波が起きたとき、津市では逃げる人と、受け止める人が必要になります。私は、津市全体で命を守る防災を進めたい。

海岸部

「逃げる」⇒安全な非難ルート、道路環境の整備。

電柱を減らし、細い道を見直す。分かりやすい表示。

釜井市の事例（釜井市の奇跡）から学ぶ、命をまもる防災教育。

内陸部

「受け止める」⇒高齢者・子どもを守る側。内陸住民は助ける側＝関係者。

内陸部住民向けに専用メッセージを出します。

避難所運営の担い手を育成

→海岸部と内陸部を「分断しない仕組み」づくりが大切。津波避難訓練を「受け入れ訓練」として内陸で実施すること、内陸の住民が「避難所運営側」を体験。津市民一丸となって乗り越えていく。

①内陸部で「迎える防災」を当たり前にする

逃げる練習だけでなく、人を迎える練習を広げます。

②学校と地域で、子どもを守る仕組みを強くする

災害時、子どもは学校にいます。
学校・地域・家庭がつながる防災を進めます。

③難しい言葉を使わない防災に変える

防災は、分からないと動けません。
分かる言葉で伝える政治をします。

PICK UP

農家さんを身近に

私たちが暮らす街の豊かな恵みを子どもたちへ。地元の農家さんと触れ合い、給食や体験を通じて、子供たちの「おいしい!」と「郷土愛」を育みます。こだわりの地元産を食べることで、農家さんを支える力に。

- ▶ 農家さんをもっと身近に！気軽に地元の農産物を買える場所づくりをしたい！
- ▶ 地域のコミュニティや人間関係を活かし、人が集まる場所への販売網をつくりたい！
- ▶ 楽しみながら、体験しながら農業を学ぶ「食育」が大事。体験する場所や、学ぶ場所をつくりたい！
- ▶ おいしい給食を通じて、農家さんの苦労も含め、子どもたちが農家さんを知り、地元の食材に感謝して、地域を誇りに思えるような「食育」がしたい！

PICK UP

地域づくり

地域のコミュニティを強化し、「多世代住居」のまちづくりを推進します。

「多世代住居のまちづくり」…少子高齢化や空き家の発生によって活力が低下している住宅地において、子どもから高齢者までの多世代が近くに住み、互いに支え合いながら、誰もがいきいきと生活できるまちづくり。

- ▶ 推進するキーマン育成・取り組みの普及啓発
- ▶ 専門家（コーディネーター）を派遣し、学び、展開します。（神奈川県事例あり）
- ▶ 地域で子どもを育てる仕組みづくり
- ▶ 郷土教育
- ▶ お祭りなど多世代で参加できるイベントの次世代への継承、計画推進



よこやまとよきってこんな人！



誠実で曲がったことが大嫌い

高校時代を振り返ってみると、誠実で曲がったことが大嫌いなどよきなら、きっと地元津市のために活躍できます。高校時代からの友人として、心から信頼しています。

川岸 巧 (40代)
津市川添町

利他の精神がいっぱいの人

よこやまさんとお付き合いする中で気がついたこと、利他の精神がいっぱいの人だなあと感じていました。こういう人にこそ、津市を引っ張ってほしいと心から思います。

稲垣 充 (50代)
津市美里町

小さな声にも耳を傾ける優しい人

よこやまさんは初対面の時から優しい笑顔で自然と打ち解けることができました。いつでも真剣に話を聞いてくれる方です。子どもたちの小さな声にも耳を傾ける優しさがあります。

磯部祐真 (30代)
津市島崎町

思いが強く、真面目でまっすぐ

よこやまさんは気さくな笑顔でとても接しやすく、津市をまもりたいという強い思いのある方です。老若男女問わず周りへ細かい気配りができるよこやまさん。日本が大好きな素晴らしい方です。

中西真穂 (30代)
津市阿漕町

PROFILE

1980年(昭和55年)6月生まれの45歳。泉ヶ丘団地在住。津市生まれ津市育ち。祖父母は美里村出身。泉ヶ丘保育園、神戸小学校、西郊中学校、高田高等学校、日本福祉大学卒。住宅設備メーカーに22年6ヶ月勤めていましたが、自分の人生を津市のために使うと決めました！